



一般社団法人名古屋工業会会誌

こきそ

2020 7-8 月号

【母校名古屋工業大学の新型コロナウイルス感染症対応について】

【2020年度定期総会報告】

【交流コーナー】

双六会 卒後50年に寄せて

【新聞記事コーナー】

中日新聞、中部経済新聞

【ホットライン】

表彰者紹介

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.496

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番
国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



東京支部「第65回 東京ごきそサロン」開催のご案内

今回は、特定非営利活動法人港湾保安対策機構 山根隆行様にお話しして頂きます。奮ってご参加お申し込みください。もし開催日近くでなごコロナ禍が収まらず開催中止になる場合、各科連絡幹事より中止のご連絡を致します。

開催日時：令和2年9月2日（水）18時00分～20時00分

開催場所：八重洲倶楽部（東京駅八重洲口地下）2,3会議室 電話：03-3275-0801

テーマ：日本民族の“いのち”とは何だろうか？

講師：山根 隆行（やまね たかゆき）氏（C50年卒）

特定非営利活動法人 港湾保安対策機構 理事長

1975年名古屋工業大学Ⅱ部土木工学科卒、1977年同大学院修士課程土木工学専攻終了。同年運輸省入省。その後、関西国際空港(株)出向、運輸省北海道運輸局企画部長、茨城県土木部技監兼港湾課長、運輸省港湾局計画課企画調査室長、国土交通省北陸地方整備局港湾空港部長、国土交通省国土技術政策総合研究所副所長を歴任。その後2008年国土交通省退職し、同年8月に特定非営利活動法人港湾保安対策機構理事長に就任し、現在に至る。

講演概要：平成から令和へと時代が変わり、昭和生まれの私（山根様）にとっては、はや自分自身が子供のころに感じていた明治生まれの方々に相当する世代になってしまったとの感が深いです。昨年から今年にかけては皇室に関わるニュースを見聞する機会も増え、改めて我が国の皇室とは何だろうか？と考えてみました。特にキリスト教である私にとっては、皇室の儀式や神社の祭礼での神道に基づく所作とキリスト教の原典である聖書の記述、日本語とヘブライ語とには少なからず類似点が見いだされとの説を唱える学者もあり、改めて興味を抱くことになった次第です。そんな訳で、ごきそサロンのテーマとして適切か否か迷いましたが、「神道とキリスト教の接点」について話題を提供させて頂き、皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

会費：名古屋工業会会員：1,000円、非会員：1,500円（全員に食事が付きます）

申込先：食事の準備の都合上、8月20日（木）までに下記の各科連絡幹事宛、電話、FAX又はe-mailでお申し込み下さい。各科連絡幹事は出席者名簿を8月22日（土）までに鈴木まで E-mail（spyn5cf9@canvas.ocn.ne.jp）によりご連絡下さい。

C：松田和繁 Tel：090-8437-7800
e-mail: matsudaron0426@gmail.com

A：長谷川久巳 Tel：090-4522-1373
Fax：03-6665-4852
e-mail: hasegawa.hisami.3t4@eng.nipponsteel.com

M：戸澤宏一 Tel：090-1605-1038
e-mail: h.tozawa.803@nitech.jp

Es：丸山 実 Tel：080-4676-7555
e-mail: maruyama1938@gmail.com

D：刑部道博 Tel/Fax：045-974-5675
e-mail: m.osakabe.459@nitech.jp

W：印藤 嶠 Tel/Fax：047-492-1384
e-mail: t-nikkal117@cg7.so-net.ne.jp

Y：日沖 昭 Tel/Fax：045-911-3340
e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K：北村明弘 Tel：090-6191-3316
e-mail: akihiro.kitamura@sho-pat.com

F：小川一郎 Tel/Fax：049-264-0767
e-mail: i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp

B：飯沼義昭 Tel：0467-23-7380
e-mail: takaoka102102@yahoo.co.jp

表紙写真説明

「ミヤマコアザミ」（伊吹山にて）

撮影者 工業会事務局

母校名古屋工業大学の新型コロナウイルス感染症対応について

母校、名古屋工業大学では、3月の企業研究セミナー（吹上ホールで400社がブースを開く就職活動の最大イベント）、学位記授与式(卒業式)、4月に入って入学式が中止になり、授業開始も5月14日からオンラインで実施となりました。

多くの大学で、技術的な問題からオンライン授業が頓挫する中、「強固な」情報基盤を整備してきた母校では、情報工学系教員のソフトに関する熱心なアドバイスもあり、順調な滑り出しとなりました。

大学学務課では、オンライン授業へのアクセスができていない学生のフォローアップなど、きめ細かな対応も行っています。

現在では、多くの会議もTeamsなどのテレビ会議ソフトを使ってオンラインで行われています。

5月の下旬に緊急事態宣言も解除されたことから、研究室ワークが中心となる4年生、大学院生が6月から登校し、遅れていた卒業研究などに取り組んでいます。（3年次以下は引き続きオンライン授業）

第二波、第三波を警戒して、三密を防いでの研究活動となるため、各研究室においても様々な工夫が求められています。

学生センターの職員はフェイスシールドとマスクの「重装備」で窓口業務を行っています。

大学では、夏休みを可能な限り縮めての研究室活動を行いますが、2か月の遅れをどのように取り戻すのか、指導教員の頭の痛い問題となっています。

感染防止のため大声は禁物。マスク姿で「無言」で「ガンバロー」をしてくれた学生たち。遅れている研究活動に勤しんでいます。窓は全開、人との間隔も1mをとりました。（河辺研究室から）

名古屋工業会事務局



河辺研究室の4年生・院生



フェイスシールドとマスクの「重装備」の職員
(学生センター学務課の職員)

5月以降、オンラインで授業が行われていましたが、6月から卒業研究の4年生と大学院生の出校が認められ、6月下旬以降は、実験・実習・演習など、大学でしか実施できない授業が開始されました。研究も再開されてきており、夜間の校舎で窓を灯す明かりも徐々に増えつつあります。ただし、講義科目は、引き続きオンライン授業です。

新型コロナウイルス感染症に伴う学生援助に対するご支援について

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、何かと不便・不自由な生活を送られていることと存じます。

新型コロナウイルス感染症は、日本国内においては、ピークを越えましたが、世界での蔓延は収まっておらず、第二波、第三波を想定して、感染症対策を踏まえた社会生活(「新しい生活様式」)が求められています。

母校名古屋工業大学では、遅れていた前期授業が5月14日からオンデマンドにより開始されました。緊急事態宣言が解除された6月からは、研究室ワークが中心の学部4年生、大学院生が大学に戻り、研究活動を始めています。ただ、3年生以下は引き続きオンデマンドによる授業です。

名工大は、情報設備環境は整っているとはいえ、学生側のネットワーク接続環境には差があり、必ずしも万全の勉学条件とは言えません。また、親の収入が激減し、アルバイト先もままならず、学生生活の継続に支障のある学生もいます。

母校は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、学ぶ意欲をもちながらも困窮している学生の支援や、遠隔授業等の学習環境の整備などに対して、募金活動を開始することとなりました。

名古屋工業会においても、これら学生の支援のための募金活動を行います。

ぜひとも、ご賛同くださいますようお願いいたします。

一般社団法人名古屋工業会
理事長 加川純一

<寄附方法について>

会員各位におかれましては、名古屋工業大学基金ホームページから寄附金のページを開き、インターネット/郵便局/金融機関/大学での窓口などを選び、ご寄附をお願いします。

名古屋工業大学基金ホームページは次のとおり。<https://www.nitech.ac.jp/kikin/donate/>
用途について「工業会ウィルス対策」とご記入ください。

<ご芳名について>

大学では、寄附者名を基金のホームページに掲載しております。

大学基金の芳名掲載ページ→ <https://www.nitech.ac.jp/kikin/name/>

ご芳名の掲載を希望されない場合は、寄附の申込みの際に「お名前の掲載を希望しない」旨、記載いただきますようお願いいたします。

参考：名古屋工業大学ホームページ

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への名古屋工業大学教育研究緊急支援金の創設

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2020/8334.html>

問合せ：名古屋工業大学企画広報課(基金室) Tel 052-735-5004

新型コロナウイルス感染症に伴う学生援助に対するご支援について

新型コロナウイルスは世界的に猛威を振るっており、我が国においては5月17日時点で感染者数1万6千人、亡くなられた方は756人と伝えられております。亡くなられた方及びご遺族の皆様には心よりご冥福とお悔やみを申し上げます。

この感染症は、社会の営みを著しく停滞、混乱させるものであり、人々の生活が脅かされている状況は今現在も続いております。

本学においても、学生の華やかな門出となるべく卒業式や入学式などの諸行事の中止を余儀なくされ、授業開始の延期やキャンパスへの立入り制限など、通常の教育研究活動に多大な支障を来しております。その中で5月14日からやむなくインターネットを利用したオンライン授業を開始したところであります。しかし、工学系では必須の実験・実習やアクティブラーニング等実践的な授業はできず、学修方法を巡って日々検討を続けているところです。また、学生にとっては授業のみならず本来享受できるはずのキャンパスでの他学生・教職員との出会いや経験、課外活動など、期待する学びができない状況にあります。

それ以上に、アルバイトや仕送りなどの減少により自らの生活の維持すら困難という切実な問題があります。本学での教育を受ける意欲と能力がありながら経済的に断念せざるを得ないという結果は、教育関係者ならずとも受入れ難いものであります。

本学は、ご案内のとおり地域産業界からの要請に応え、イノベーションの創出、未来の幸を創出する人材の育成のための改革を断行しております。就職率も学部・大学院とも全国立大学中第2位の98%と好調ですが、このことは裏を返せば、産業界の本学学生に対する期待の表れであり、学生の学びの不振・低下は産業界の損失でもあります。

本学の運営は、授業料、運営費交付金、共同研究費等の外部資金を主な財源としておりますが、教育研究の改善と質の確保・向上も図らなければならず、学生への直接的な援助には、皆様方からの善意に期待するほかありません。

皆様方にとっても今回の災禍により様々な影響を受けている中で心苦しいところではありますが、このような事情をご理解いただき、温かい支援を心からお願いする次第です。

令和2年5月

名古屋工業大学長

末下 隆利

2020年度定期総会(書面審議)の結果について

2020年度定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国の代議員が一堂に会することは中止とし、書面による審議となりました。また、例年、定期総会と同日に開催している理事会、会員総会、特別講演会、懇親会は中止となりました。

代議員による定期総会(書面審議)の結果を報告します。

代議員(88名)には、5月23日付けで、総会資料を送付し、6月30日までに71名から回答があり、全ての議案について以下のとおり可決されましたので報告します。

1 定期総会の成立

総会の成立要件は、総代議員の過半数(代議員88名中45名)のところ71名からの回答を得ましたので、本定期総会は成立しました。(定款第21条による)

2 議決

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算案

通常の議案については、回答者の過半数(71名中36名)が必要であるところ、回答者71名全員が賛成でしたので、第1号議案は、可決しました。(定款22条第1項適用議案)

第2号議案 名古屋工業会館の解体について

重要な財産の処分については、議決権の2/3以上(88名中59名)が必要であるところ、回答者71名全員が賛成でしたので、第2号議案は、可決しました。(定款22条第2項適用議案)

第3号議案 2020年度事業計画及び収支予算案

通常の議案については、回答者の過半数(71名中36名)が必要であるところ、回答者71名全員が賛成でしたので、第3号議案は、可決しました。(定款22条第1項適用議案)



2020年度 定期総会

議 事

(決議事項)

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算案

第2号議案 名古屋工業会館の解体について(財産の処分について)

第3号議案 2020年度事業計画及び収支予算案

記念品贈呈

叙勲受章者へ記念品贈呈(敬称略)

早原悦朗 松井信行 川嶋紘一郎 常廣 穰 松原十三生 田中義久

名古屋工業大学卒業満70、60、50、40周年の会員へ記念品贈呈(敬称略)

(70年—昭和25年卒) —22名

C 富田 努 始5名	A 太田清衛	M 金原淑郎 始4名	E 泉館昭則 始7名
W 山田昭郎	D 近藤 寛 始3名	K 小林 茂	

(60年—昭和35年卒) —98名

C 野口 健 始11名	A 倉森 治 始12名	M 星野三郎 始18名	E 梅野正義 始14名
W 日比貞雄 始10名	D 小野清治 始24名	Y 浅井孝夫 始5名	K 犬伏勇作 始4名

(50年—昭和45年卒) —71名

C 太田賢二 始12名	A 須山一彦 始5名	M 安部信治 始18名	E 梅村正夫 始6名
Es 櫛部精次郎	W 森川民雄 始2名	D 田野瀬良太郎 始11名	Y 神谷嘉夫 始3名
K 池田徹之 始8名	F 瀬尾雅義 始3名	B 梶原俊彦 始2名	

(40年—昭和55年卒) —70名

C 小西日出幸 始9名	A 朝倉祥行 始6名	M 小玉陽久 始14名	E 城ノ口秀樹 始10名
Es 松井敏郎 始4名	W 久間康弘 始2名	D 蜂須賀豊 始2名	G 鈴木賢一郎 始5名
Y 鳥居豊彦 始5名	K 茅野正澄 始3名	F 加藤和幸 始6名	B 佐藤金典 始2名
J 栗津茂樹 始2名			

2020年度 役員名簿

理事(9)	加川純一	K49	仁科 健	B50
	松浦明人	M47	岡崎格郎	A46
	内藤克己	A43	山下啓司	W56
	森 秀樹	D52	森川民雄	W45
	大鹿秀正	F47		

監事(2)	水谷尚美	D42	川村信之	E53
--------------	------	-----	------	-----

相談役(6)	藤原俊朗	K31	牛込 進	Y33
	篠田陽史	M33	二杵幸夫	K39
	木越正司	C44	水嶋敏夫	M42

参 与(10)	宇佐美貞夫	F40	北村健治	B40
	加藤作次	C40	河辺 彰	K40
	伊藤要蔵	B42	張田吉昭	M43
	北村 正	Es48	阿部完二	D41
	清水益文	F44	安藤正晴	B43

顧問(2)	飯田秀郎	W33	日比貞雄	W35
--------------	------	-----	------	-----

支部長(22)

北海道	三田村好矩	F41
東 北	齋藤文伸	A51
東 京	松浦明人	M47
甲信越	若林俊樹	M56
静 岡	石塚基一郎	C54
三 河	中島和彦	Y58
名古屋	仁科 健	B50
尾 張 ○	伊藤美保	D44
岐 阜	大久保陽一	Es44
北 陸	竹田敏洋	B41
三 重 ○	里 宏幸	C56
大 阪	岡崎格郎	A46
兵 庫 ○	高柳 誠	C60
岡 山	野村幸宣	C54
広 島	大田一夫	C47
山 口	岸田潤三	C58
山 陰	糸賀輝穂	C51
香 川	藤川 智	E52
徳 島	後藤田啓造	M38
愛 媛	馬越陽一郎	C58
高 知	山崎健司	A54
九 州 ○	吉村 尚	A50

代議員(88)

北海道(1)	佐川正人	C53		
東 北(1) ○	齋藤文伸	A51		
東 京(7)	松田和繁	C55	浅井英利	E58
	三浦太朗	EC⑬	刑部道博	D54
	戸澤宏一	M55	長谷川久巳	A62
	北村明弘	K53		
甲信越(2)	若林俊樹	M56	樋口 順	C48
静 岡(2)	山之上誠	C49	向坂直久	Es60
三 河(12)	中島和彦	Y58	吉木 満	W56
	大野一成	ZK⑤	岩田忠三	M59
	沼澤成男	M59	伊藤雅幸	D⑨
	岡本幹浩	M60	松坂勝広	D61
	水野文彦	K63	山本英二	G60
	出崎 亨	K61	安田智成	ZK⑨
名古屋(25)	河合秀樹	C59	兼岩 孝	C54
	藤田素弘	C60	杉戸厚吉	A53
	井澤知旦	A51	武内博明	Mb①
	立岩佑一郎	I⑭	富田庸公	Mb①
	加藤正史	EM⑩	伊藤哲夫	W45
	橋本 忍	ZY②	小坂井孝生	K49
	大鑄史男	F49	三宅正人	E60
	森川民雄	W45	犬塚正憲	D48
	中野達夫	G50	村瀬由明	D53
	野々山尚志	Y63	小山敏幸	K61
	守田賢一	F47	鷺見克典	B63
	石橋 豊	J56	西村良博	F48
	山口 啓	C49		
尾 張(7)	小久江智之	M53	服部重夫	Y43
	立石吉行	M44	伊藤美保	D44
	大竹昌志	C54	音無通男	W41
	山口初一	E56		
岐 阜(7)	各務剛児	C53	田中清之	A54
	堤 喜治	M45	沢野 勝	E43
	山田孝夫	W48	笹島 康	Y39
	兼松克司	K42		
北 陸(2)	黒田 茂	M47	吉岡正盛	B58
三 重(4)	黒木清篤	D52	浅野俊介	Y60
	○ 満仲朗夫	C59	○ 北川貴志	C50
大 阪(5)	川越英二	E47	伊藤俊明	M45
	西川嘉一	G50	西岡 裕	B50
	堀口大輔	C59		
兵 庫(2)	佐久嶋 拓	EI⑫	植田康之	M⑩
岡 山(2)	虫明正博	K59	小倉俊彦	A58
広 島(1)	菱川躬行	E34		
山 口(1)	川上為夫	W42		
山 陰(1)	湊口民弥	A52		
香 川(1)	前川浩一	SC⑩		
徳 島(1)	福井一博	A46		
愛 媛(1) ○	小松浩樹	CM		
高 知(1)	山内 健	C53		
九 州(2)	池崎 徹	M54	吉村 尚	A50

○: 新任候補者

■ 退任役員	(尾張支部長) 音無通男	W41
	(三重支部長) 北川貴志	C50
	(兵庫支部長) 高瀬陽太郎	C53
	(九州支部長) 池崎 徹	M54

(代議員/東北) 佐竹毅彦	Y57
(代議員/三重) 久世憲志	C52
(代議員/三重) 太田啓雅	E62
(代議員/愛媛) 本庄謙太	SC⑮

1. 大学支援事業

（1）国際化推進事業支援（国際的に通用する人材の育成・大学の国際化支援）

国際的に通用する人材育成と大学の国際化を支援するため、名古屋工業大学基金に設立された名古屋工業会基金に資金を交付し、学生の海外留学・派遣に対する支援の充実を図った。

① 学生の海外研鑽支援－学生38名

（2）教育研究支援（大学の教育研究活動に対する支援）

① 第二部の授業科目「職業指導」を担当する非常勤講師（実務型教員）を派遣した。

② 教員の研究力向上に資するため名古屋工業大学基金に設立された名古屋工業会基金に資金を交付し、母校における研究の振興を図った。

③ 名古屋工業大学の定年退職教職員 8名に感謝状と記念品を贈呈した。

（3）学生支援（学生の人材育成に対する支援）

① 国際化推進のための海外留学等の支援を行った。（再掲）

② 名古屋工業会賞の贈呈

学長より推薦のあった成績優秀な卒業生19名に対し、名古屋工業会賞として表彰状並びに記念品を贈呈した。

③ 経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金の授与

経済的に支援を必要とする新入生に、名古屋工業大学長出席のもと理事長から名古屋工業会給付型奨学金を新たに授与するとともに、3年生までの学生4人に継続給付した。

④ 名古屋工業大学留学生後援会への援助を行った。

⑤ 挑戦的課外活動活性化奨励金の給付

挑戦的課外活動活性化のため、名工大ソーラーカー部、フォーミュラプロジェクト、ロボコン、人力飛行機研究会、アメリカンフットボール部に課外活動奨励金を授与し、活動の活性化を図った。また、学生個人の活躍によりフラッシュ演算で日本一となった学生、国体において、弓道の遠的種目で高成績を収めた学生、パワーリフティングで入賞した学生に理事長表彰を行った。

⑥ 工大祭に本部及び名古屋支部より協賛金を贈呈した。

⑦ 就職活動支援（学生会員及び保護者）

1) 就職活動開始前の学生に対する「就労意識の早期醸成」・「企業理解の促進」教育を目的とした「名工大ディナートーク」の開催

2) 就職活動対象学生に対し、就職ガイダンスの一環として「OB・OGトップセミナー」を開催した。

講演者

岸 宏尚(M57) トヨタ自動車株式会社 パワートレーンカンパニーPresident

野田 英智(D61) 中部電力株式会社執行役員

3) 単科会が主催する卒業生と学生との懇談会を通じた就職支援を行った。

⑧ 新入生の保護者に工業会の学生支援等の説明を行うと共に、在学生の保護者に大学情報等の提供のため、会誌を送付した。

（4）その他の支援

① 大学が行う各種の事業及び学生活動に対する支援

1) ホームカミングデーの支援金を贈るとともにS44卒50周年記念式典の実施協力、支部連絡会の出席者のホームカミングデーへの参加を行った。

② 鶴桜会（OG会）に事業支援金を贈るとともに、総会に理事長、常務理事を派遣した。

③ 名古屋工業会総会、支部総会などの機会に大学基金パンフレットを配布するなど、大学への寄附に対し協力を行った。

④ ホームカミングデーのS44卒50周年記念式典の参加者からの寄附金を取りまとめた。

2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

(1) 会員増強活動

① 卒業生・新入生への活動

- 1) 入会率を向上させるため、入学式後の保護者説明会での入会勧誘を行った。
- 2) 各支部行事の機会における支部単位での入会勧誘を行った。

② 単科会への活動

- 1) 単科会が主催する「卒業生と学生の懇談会（前述1（3）⑦）」における未加入者の入会勧誘を行った。

③ 在学生への活動

新入生の入会率について、分析するとともに、入学後の保護者へのPRのため、ごきその全学生配布を行った。

④ その他会員増強

企業の新規役員昇格者に対し祝電を送るとともに入会を促した。

⑤ 会員の状況

新規入会者

終身会員 67(76)名、 年度会員 9(13)名、 合計 76(89)名

新入学生会員

一括納付による終身会員 900(926)名、 8年累計 7,588名

2019年末の会員状況

対象者 67,593(65,899)名、会員 15,809(15,208)名 会員入会率；23.4(23.1)%

会員の内訳 終身会員 13,193(12,494)名、年度会員 2,616(2,714)名

(2) 活性化活動

① 会員交流および広報活動

- 1) 会誌「ごきそ」を隔月に発行し、会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体として、会誌の刊行を行った。なお、閲覧はホームページによる。
5・6月号を全在校生の保護者に送付し、工業会の広報を行った。
- 2) 情報提供の場としてのホームページの充実
広報委員会においてホームページの充実策について検討した。
- 3) 学生会員の保護者に対し当会の理念及び事業等の説明会を開催した。また、保護者に「OB・OGトップセミナー」への参加案内を行った。
- 4) 当会の事業に賛同する団体に会友としての参加を働きかけるため、ごきそにおける単科会行事案内の掲載を行った。名工大女性卒業生で組織する鶴桜会を支援した。
単科会が主催する卒業生と学生との懇談会を通じた就職活動について支援を行った。
- 5) 会員情報・優待制度の充実
 - ・ 会員優待制度の普及・充実とともに会員への利用の周知を行った。
 - ・ 会員証の利用・普及の拡充とともに、有効期限更新時（2020年5月）に向け、データ調整を行った。
- 6) 会員データベース整備のため、卒業生連携室の協力を得て、大学データベースとの連携の在り方について検討した。

② 支部活動

- 1) 東京支部との情報交換を行い、支部活動の土台となる情報の在り方について、認識を共有した。ごきそにおいて、支部活動の紹介、支部イベントの案内など積極的に行った。
- 2) 理事長又は常務理事を支部総会に派遣し、本部と支部とのコミュニケーションを促進するとともに、支部長会議、支部連絡会の開催を通じて、人的ネットワーク形成に努めた。
- 3) 「職域」との連携の在り方の検討
東海地域の一部の「職域」と協議を行い、現在の課題や工業会との連携について検討を始めた。

③ 単科会との連携

1) 工業会と大学及び単科会との連携等について検討

大学の協力を得て、本部事務局を大学キャンパス内の校友会館に移転した。また、大学から事務局長が派遣された。これらを通じて、大学との連携関係がさらに強化された。

S44 卒記念式典の行事企画・行事实施の過程で、大学との連携、単科会との連携を具体的にを行った。

2) 単科会が主催する「卒業生と学生との懇談会（前述 1（3）⑦）」を支援した。

④ 講演会の開催

1) 2019 年定期総会において、特別学術講演会を開催した。

講師：大里 啓（Y43）名産研・上席研究員 オウル大学・元客員教授

演題：『海外との共同研究とヨーロッパの磁器のルーツ』

⑤ 記念品の贈呈

1) 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈

奥山文雄 瑞宝中綬章 名古屋工業大学名誉教授

中林功一 瑞宝中綬章 名古屋工業大学名誉教授

2) 卒業満 70、60、50、40 周年に該当する会員に記念品贈呈

70 年 22 名、60 年 74 名、50 年 95 名、40 年 73 名

3. 名古屋工業会の将来に向けた基盤整備

（1）中長期財政計画の策定

① 財政検討委員会の継続検討

1) 公益目的支出計画終了に伴う健全財政構築についての検討

公益目的支出計画終了を見据えて、管理経費について、検討及び削減した。

2) 大学支援の在り方についての検討

学生支援及び大学支援の在り方について検討し、一部の学生支援について大学経由で実施する方向で大学と協議した。

② 本部の学内移転と本部事務組織の見直し

大学の協力を得て学内移転を実施した。これにより、管理経費の節減を図るとともに、個別業務での大学との連携を強化した。移転先（校友会館）の整備については、大学側の好意により、最低限の支出に留まった。

本部事務組織を見直し、人件費を削減した。

（2）名古屋工業会館の解体と跡地活用の検討

本部の移転、テナントの退出等、実施にあたっての技術的調査、費用や実行方法、跡地活用等の検討を行った。

解体後の敷地活用について調査するとともに、必要な不動産（「青道」）を購入した。

（3）本部の学内移転後の大学連携活動の検討

・卒業生連携室との具体的連携活動の検討

卒業生連携室と共用するスペースを確保し、会議等への活用、来学する卒業生の休憩場所としての利用を行った。

・各データベース間の連携について、検討を開始した。

4. その他の事業

（1）ホームカミングデーにおける昭和 44 年卒業生の卒業式実施協力

昭和 44 年卒業生の卒業記念式典について、イベントの企画、広報・周知、当日の受付などに積極的に参画した。約 150 名の卒業生が参加し、盛大に開催、新聞等にも掲載され社会的話題になった。

以 上

2019年度収支決算書

(2019年4月1日から2020年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

勘 定 科 目	決算額(A)	予算額(B)	増減(A-B)
1) 事業収入等	3,085,070	3,637,000	△ 551,930
(1) 財産利子収入	1,979,180	1,977,000	2,180
(2) 会誌広告収入	387,000	410,000	△ 23,000
(3) オフィス賃貸収入	718,890	1,250,000	△ 531,110
(4) 駐車場賃貸収入	0	0	0
(5) 寄附金収入	0	0	0
2) 入会金, 会費収入	76,800,000	76,190,000	610,000
(1) 入会金収入	44,000	70,000	△ 26,000
(2) 年度会費収入	3,116,000	3,500,000	△ 384,000
(3) 終身会費収入	73,520,000	72,500,000	1,020,000
(4) 賛助会費収入	120,000	120,000	0
3) 雑収入	115,135	90,000	25,135
(1) 雑収入	115,135	90,000	25,135
4) 積立預金取崩収入	902,000	3,000,000	△ 2,098,000
(1) 減価償却積立預金取崩収入	902,000	0	902,000
(2) 調査研究助成積立預金取崩収入		3,000,000	△ 3,000,000
5) 前期繰越収支差額	0	0	0
(1) 前期繰越収支差額	0	0	0
収入の部合計	80,902,205	82,917,000	△ 2,014,795

注1 テナント退出

注2 年度会員から終身会員への移行

注3 土地購入

2. 支出の部

(単位:円)

勘 定 科 目	決算額(A)	予算額(B)	増減(A-B)
1) 事業費	68,745,647	72,147,000	△ 3,401,353
(1) 大学支援事業	39,552,844	41,940,000	△ 2,387,156
ア 教育研究支援	3,353,446	3,680,000	△ 326,554
イ 学生支援	34,859,575	36,830,000	△ 1,970,425
ウ その他支援	1,339,823	1,430,000	△ 90,177
(2) 工業会の充実のための事業	26,606,082	28,057,000	△ 1,450,918
ア 会員増強活動	1,803,817	3,292,000	△ 1,488,183
イ 広報活動	9,803,045	10,290,000	△ 486,955
ウ 支部活動	12,931,837	12,240,000	691,837
エ 会員慶弔	1,917,501	2,120,000	△ 202,499
オ 講演会	149,882	115,000	34,882
(3) 収益事業	2,586,721	2,150,000	436,721
ア オフィス賃貸	2,171,767	2,150,000	21,767
イ 駐車場賃貸	414,954	0	414,954
2) 管理費	11,104,735	10,770,000	334,735
(1) 総会経費	2,187,188	2,080,000	107,188
(2) 管理諸経費	8,917,547	8,690,000	227,547
3) 固定資産取得支出	902,000	0	902,000
(1) 固定資産取得支出	902,000	0	902,000
4) 次期繰越収支差額	149,823	0	149,823
(1) 次期繰越収支差額	149,823	0	149,823
支出の部合計	80,902,205	82,917,000	△ 2,014,795

注1 土地購入

正味財産増減計算の部

2020年3月31日

(1) 増加の部

(単位:円)

	勘 定 科 目	決 算 額	備 考
資 産 の 増 加	当 期 繰 越 収 支 差 額	149,823	
	土 地 増 加 額	902,000	
	減 価 償 却 積 立 預 金 増 加 額	2,185,015	
	退 職 給 与 引 当 預 金 増 加 額	300,000	
負 債 の 減 少	退 職 給 与 引 当 金 減 少 額	2,140,000	
	受 入 保 証 金 減 少 額	123,000	
増 加 額 合 計		5,799,838	

(2) 減少の部

	勘 定 科 目	決 算 額	備 考
資 産 の 減 少	前 期 繰 越 収 支 差 額	0	
	建 物 償 却 費	1,633,249	
	建 物 附 属 設 備 償 却 費	197,957	
	什 器 備 品 償 却 費	353,809	
	減 価 償 却 積 立 預 金 減 少 額	902,000	
	退 職 給 与 引 当 預 金 減 少 額	2,140,000	
	受 入 保 証 金 減 少 額	123,000	
負 債 の 増 加	退 職 給 与 引 当 金 増 加 額	300,000	
減 少 額 合 計		5,650,015	
当 期 正 味 財 産 増 減 額		149,823	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額		304,027,182	
期 末 正 味 財 産 合 計 額		304,177,005	



貸 借 対 照 表

2020年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,410,669	894,530	516,139
預金	68,198,768	69,245,093	△ 1,046,325
流動資産合計 (A)	69,609,437	70,139,623	△ 530,186
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
調査研究助成積立預金	15,887,495	15,887,495	0
退職給与引当預金	2,755,191	4,595,191	△ 1,840,000
減価償却積立預金	60,771,253	59,488,238	1,283,015
特定資産合計 (B)	79,413,939	79,970,924	△ 556,985
(2) その他固定資産			
土地	33,524,344	32,622,344	902,000
建物	27,342,662	28,975,911	△ 1,633,249
建物付属設備	1,139,635	1,337,592	△ 197,957
什器備品	1,080,189	1,433,998	△ 353,809
投資有価証券	94,727,430	94,170,421	557,009
差入保証金	150,000	150,000	0
その他固定資産合計 (C)	157,964,260	158,690,266	△ 726,006
固定資産合計 (D) = (B) + (C)	237,378,199	238,661,190	△ 1,282,991
資産合計 (E) = (A) + (D)	306,987,636	308,800,813	△ 1,813,177
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
受入保証金	55,440	178,440	△ 123,000
退職給与引当金	2,755,191	4,595,191	△ 1,840,000
固定負債合計 (G)	2,810,631	4,773,631	△ 1,963,000
負債合計 (H)	2,810,631	4,773,631	△ 1,963,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	304,177,005	304,027,182	149,823
正味財産合計 (I)	304,177,005	304,027,182	149,823
負債及び正味財産合計 (J) = (H) + (I)	306,987,636	308,800,813	△ 1,813,177

財 産 目 録

2020年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
(資産の部)		
I. 流 動 資 産		
1. 現金	1,410,669	
2. 普通預金(三菱UFJ銀行)	61,838,673	
3. 当座預金(ゆうちょ銀行)	5,360,095	
4. 定期預金(三菱UFJ銀行)	1,000,000	
流動資産合計	69,609,437	69,609,437
II. 固 定 資 産		
1. 特定資産		
(1) 愛知県公債 (野村証券)	15,887,495	
(2) 国 債 (野村証券)	63,526,444	
特定資産合計	79,413,939	79,413,939
2. その他の固定資産		
(1) 土地 会館用地393.78 m ²	26,150,730	
(2) 土地 木造事務所用地95.81 m ²	6,471,614	
(3) 土地 4番14 25.71m ²	902,000	
(4) 建物 会館鉄筋5階建延646.88 m ²	26,529,001	
(5) 建物 木造事務所99.70 m ²	813,661	
(6) 建物附属設備	1,139,635	
(7) 什器備品	1,080,189	
(8) 国 債 (野村証券)	36,473,556	
(9) 大阪府公債 (野村証券)	20,000,000	
(10) 愛知県公債 (野村証券)	8,112,505	
(11) なごやか市民債 (野村証券)	30,000,000	
(12) 金銭信託(みずほ信託銀行)	141,369	
(13) 差入保証金 (セコム・八重洲倶楽部)	150,000	
その他の固定資産合計	157,964,260	157,964,260
固定資産合計	237,378,199	237,378,199
資 産 合 計	306,987,636	306,987,636
(負債の部)		
I. 流 動 負 債		
流動負債	0	
流動負債合計	0	0
II. 固 定 負 債		
受入保証金	55,440	
退職給与引当金	2,755,191	
固定負債合計	2,810,631	2,810,631
負債合計	2,810,631	2,810,631
正味財産		304,177,005

監査報告書

一般社団法人 名古屋工業会

理事長 加 川 純 一 殿

2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況等について報告を受け、必要に応じて説明を求め、貴重な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき当該事業年度に係る事業報告書について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討致しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2020年4月17日

一般社団法人 名古屋工業会

監事

水谷尚美 

監事

川村信之 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 名古屋工業会

理事長 加 川 純 一 殿

2019年4月1日から2020年3月31日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、貴重な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において公益目的支出計画の実施の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検致しました。

2 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

2020年4月17日

一般社団法人 名古屋工業会

監事

水谷尚美 

監事

川村信之 

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【平成31年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の概要】

1. 公益目的財産額	345,398,646 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	309,732,475 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	270,317,285 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	39,552,844 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	137,654 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	35,666,171 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和3年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	345,398,646 円	345,398,646 円	345,398,646 円	345,398,646 円	345,398,646 円
公益目的収支差額	274,914,564 円	270,317,285 円	320,733,658 円	309,732,475 円	366,552,752 円
公益目的支出の額	45,961,060 円	41,950,289 円	45,961,060 円	39,552,844 円	45,961,060 円
実施事業収入の額	141,966 円	137,654 円	141,966 円	137,654 円	141,966 円
公益目的財産残額	70,484,082 円	75,081,361 円	24,664,988 円	35,666,171 円	0 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

名古屋工業会館の解体について
 (財産の処分について)
 今年度中に大学と連携し、計画的に実施する。

名称	名古屋工業会館
場所	名古屋市昭和区狭間町4番 3
種類	集会所・店舗
構造	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
延床面積	646. 88㎡
内訳	
1階	40. 62㎡
2階	226. 5㎡
3階	180. 21㎡
4階	184. 38㎡
屋階	15. 17㎡
取得	昭和51年9月2日新築



2020年度（令和2年度）事業計画

名古屋工業会本部の学内移転後の事業目的の大学支援事業と会員サービス事業を推進するとともに昨年度までの重要課題（一般社団法人化条件と工業会館の解体他）の確実な実施と、全学同窓会を目指し、中長期計画を策定し、将来に向けての組織整備と財政基盤整備の検討を行う。

具体的には、大学（卒業生連携室）との協議や連携を図るとともに、全学同窓会へ向けて委員会等で検討し、会員意向も確認しながら、条件整理を行い、21年度、定款の改定、会友制度の活用を検討を行い、組織及びデータベースの再整備と学生会員を含めた会員サービスの充実を図っていく。

1. 大学支援事業

（1）国際化推進事業支援（国際的に通用する人材の育成・大学の国際化支援）

① 学生の海外研修・留学支援

（2）教育研究支援（大学の教育研究活動に対する支援）

① 工業会員の実務型教員（非常勤講師）としての派遣について、新たなシステムを大学と協力し、検討する。

② 教員に対する研究助成等教育研究活動の環境整備に対する支援

③ 定年退職教職員への感謝状と記念品贈呈

（3）学生支援（学生の人材育成に対する支援）

① 学生の海外研修・留学支援 【再掲】

② 優秀な卒業生に対する「名古屋工業会賞」の贈呈

③ 経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金の授与

国の給付型奨学金の導入に伴い本会の給付型奨学金の在り方について検討する。

④ 留学生後援会への援助

⑤ 挑戦的課外活動活性化奨励金の給付

⑥ 「工大祭」の支援

工大祭実行委員会に支援金を授与する。

⑦ 就職活動支援（学生会員及び保護者）

1) 就職活動開始前の学生に対する「就労意識の早期醸成」・「企業理解の促進」教育を目的とした「名工大ディナートーク」の開催

2) 就職活動対象学生に対し、就職ガイダンスの一環として「OB・OGトップセミナー」を開催する。大学と意見の交換を行い充実方策について検討する。

3) 「卒業生と学生との懇談会」による就職支援

⑧ 在学生及び保護者に対する大学の各種情報提供の支援

（4）その他の支援

① 大学が行う各種の事業及び学生活動に対する支援

1) ホームカミングデー

② 鶴桜会（OG会）の支援

③ 工業会の諸行事の機会を通じた大学基金への寄付に対する協力

④ 同期会、クラブOB会等種々の機会を通じた寄付風土の醸成

2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

(1) 会員増強活動

① 卒業生への活動

- 1) 入会率を向上させるため、各種の会合を通じた積極的な入会勧誘の実施
- 2) 各支部行事の機会における支部単位での積極的な入会勧誘

② 単科会への活動

- 1) 単科会が主催する「卒業生と学生の懇談会（前述 1（3）⑦）」における未加入者の入会勧誘
- 2) 単科会会員のうち、名古屋工業会未加入者に対する積極的な入会勧誘

③ 在学生への活動

- 1) 新入生の入会率向上策の成果検証と、さらなる改善策の検討及び保護者への PR 活動を強化する。
- 2) 未入会者に対する入会勧誘及び卒業時における未入会学生への勧誘

④ 卒業後の会員の住所等の把握

卒業後の新会員の住所その他情報の把握のため、適切な時期に郵送等により行う調査方法について検討する。

(2) 活性化活動

① 会員交流および広報活動

- 1) 会誌「ごきそ」を隔月に発行し、会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体として、より魅力ある会誌の刊行を行う。なお、閲覧はホームページによる。
新たな広報体制の検討を行う。
- 2) 情報提供の場としてのホームページの充実
- 3) 学生会員の保護者に対し当会の理念及び事業等の説明会を開催する。
とともに「OB・OG トップセミナー」への聴講の機会提供
- 4) 当会の事業に賛同する団体(単科会、職域、部活 OB 会、技術士会、同期会、鶴桜会 (OG 会)、クラブ OB 会等)に会友として参加するよう働きかけると共に、「ごきそ」及び「ホームページ」等当会の広報媒体への参加、利用を促進
- 5) 会員情報・優待制度の充実
 - ・会員優待制度の普及・充実
 - ・会員証の有効期限の更新を実施するとともに、会員データを更新する。
- 6) 会員データベース構築のため、卒業生連携室の協力を得て会員名簿を整備

② 支部活動

- 1) 支部活動は会員サービスのベースであり、特に会員数の増加が見込まれる名古屋、東京、大阪の各支部活動の充実を図り、継続的運営の整備を図る。
- 2) 全国会員の人的ネットワーク形成の推進のため本部と連携し、全国各支部の事業を充実し会員のコミュニケーションの活性化を促進

③ 「職域」との連携の在り方の検討

④ 単科会との連携

- 1) 工業会と大学及び単科会との連携等について検討
- 2) 単科会が主催する「卒業生と学生との懇談会（前述 1（3）⑦）」を支援

⑤ 講演会の開催

- 1) 今年度の特別講演会は、中止となったため、予定していたダイハツ(株)元社長伊奈功一氏の講演を来年度に延期する。

⑥ 記念品の贈呈

- 1) 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈
- 2) 卒業満 70、60、50、40 周年に該当する会員に記念品贈呈

3. 名古屋工業会の将来に向けた基盤整備

(1) 「全学同窓会」への移行について

- ① 全卒業生で構成する「全学同窓会」をめざし、会員及び組織の在り方について検討し、定款改正案を策定する。
- ② 単科会・職域その他の組織の位置づけについて検討するとともに、定款上の「会友」の定義を明確化する。

(2) 中長期財政計画の策定

① 財政検討委員会の継続検討

- 1) 公益目的支出計画終了に伴い、当面の財政計画を策定する。
- 2) 大学支援の在り方についての検討
- 3) 「全学同窓会」への移行を踏まえた長期的な財政見通しについて検討する。

② 本部事務組織の在り方について

- 1) 本部の大学内移転を活用し、大学との業務上の連携を進める。
- 2) 「全学同窓会」の組織を支える本部事務組織の運営体制について検討する。

(3) 工業会館の解体と跡地活用の検討

建物委員会の検討結果及び会員意向を踏まえた工業会館の解体を実施し、跡地活用について、検討・実施する。

実施に当たっては、大学との連携を図り、公平で適正な事業推進を図る。

(4) 大学連携活動の検討

- ・ 卒業生連携室との具体的連携活動を検討する。
- ・ データベースの計画的連携方法を検討する。

4. その他の事業

(1) ホームカミングデー（再掲）

令和元年度に実施した昭和 44 年卒業生卒業記念式典の成功を踏まえ、大学と協力し、新たな行事展開について、検討する。

(2) 大学基金への寄付に対する協力（再掲）

大学が実施する大学基金の募金活動に積極的に協力する。

以 上

2020年度収支予算書

(2020年4月1日から2021年3月31日)

1. 収入の部

(単位:千円)

勘定科目	2020年度予算(A)	2019年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業収入等	2,358	3,085	△ 727
(1) 財産利子収入	1,978	1,979	△ 1
(2) 会誌広告収入	380	387	△ 7
(3) 駐車場等賃貸収入	0	719	△ 719
(4) 寄附金収入	0	0	0
2) 入会金、会費収入	76,060	76,800	△ 740
(1) 入会金収入	40	44	△ 4
(2) 年度会費収入	2,900	3,116	△ 216
(3) 終身会費収入	73,000	73,520	△ 520
(4) 賛助会費収入	120	120	0
3) 雑収入	100	115	△ 15
(1) 雑収入	100	115	△ 15
4) 積立預金取崩収入	40,000	902	39,098
(1) 減価償却積立預金取崩収入	40,000	902	39,098
(2) 調査研究助成積立預金取崩収入	0	0	0
5) 前期繰越収支差額	150	0	150
(1) 前期繰越収支差額	150	0	150
収入の部合計	118,668	80,902	37,766

注1

※ 2020年度借入限度額及び債務負担額についての該当事項はありません。注1 建物解体予定

2. 支出の部

(単位:千円)

勘定科目	2020年度予算(A)	2019年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業費	69,168	68,746	422
(1) 大学支援事業	40,048	39,553	495
ア 教育研究支援	3,500	3,353	147
イ 学生支援	34,800	34,860	△ 60
ウ その他支援	1,748	1,340	408
(2) 工業会の充実のための事業	27,120	26,606	514
ア 会員増強活動	2,000	1,804	196
イ 広報活動	10,000	9,803	197
ウ 支部活動	13,000	12,932	68
エ 会員慶弔	2,000	1,917	83
オ 講演会	120	150	△ 30
(3) 収益事業	2,000	2,587	△ 587
ア 駐車場等賃貸	2,000	2,587	△ 587
2) 管理費	49,500	11,104	38,396
(1) 総会経費	600	2,187	△ 1,587
(2) 管理諸経費	8,900	8,917	△ 17
(3) 建物解体経費	40,000	0	40,000
3) 固定資産取得支出	0	902	△ 902
(1) 固定資産取得支出	0	902	△ 902
4) 次期繰越収支差額	0	150	△ 150
(1) 次期繰越収支差額	0	150	△ 150
支出の部合計	118,668	80,902	37,766

交流コーナー

双六会 卒後50年に寄せて

伊藤 哲夫 (W45)

今年の双六会はどこかで「卒後50年お泊まり会」ということだったが、これがコロナで飛んだ。代案で、「文集はどうか」と提案があり、ここに思いのまま書いた。

ちなみに、「双六会」(すごろくかい)は大学同期会の名称。19「六六」年入学ということと単科会が「双友会」なので、「六六会」ならぬ「双六会」としたもの。

このところ1～2年に一回は飲み会をやった。6月6日前後に。昨年は「名古屋城本丸御殿見学会と宗春ゾーンで飲み会」それが今年はコロナで飛んで、この稿を書くことに。

ステイホームのイライラ防止のため、私はコロナ撲滅祈願をお題目に、オープンエアの自転車で神社巡りを始めたが、これは後述する。

名工大は今年の卒業式と入学式を中止。50年前もあった。学園紛争の余波で名工大の卒業式は中止となったが、それは今となってはほんの一時の腫れ物だった。現在私が所属するオーケストラのコンサートは2本(今年の7月と10月)が中止決定。さらに3本目(11月)も暗雲。このコロナはまだまだ続くという。世界経済は激動の時代となり、生活様式が変わる。

ちなみに、テレワーク。我が家は家内と二人だけの生活だが、息子家族と娘家族は帰省自粛で、最近テレビ会議システムのZoomを利用して家族夕食会を始めた。先日またそれをやった。お酒を用意した。家内は飲めないでジンジャーエールでお付き合い。新しい生活様式とはこういうものも言うのだろう。

4月初旬にコロナ撲滅祈願で自転車で神社巡りを始めた。まだ道半ば。

現在は名古屋市に居住している。5年前に転居してきた。

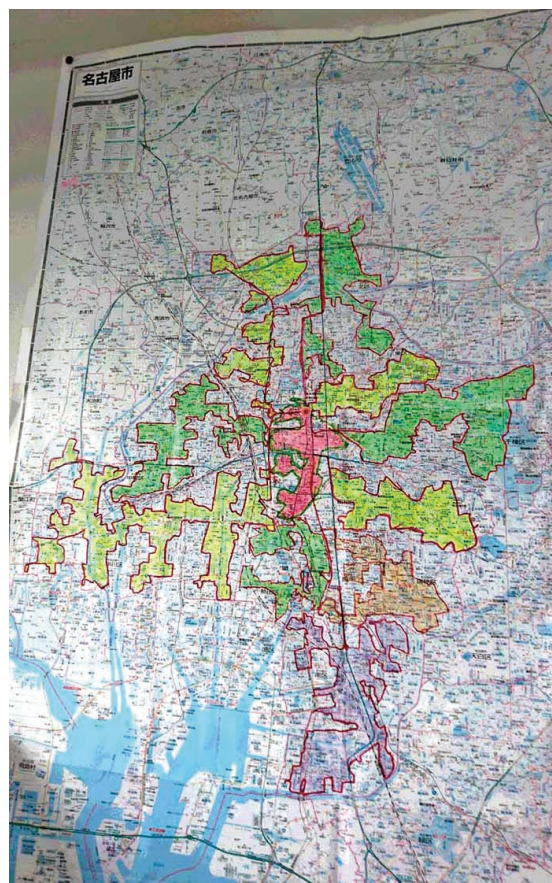
名古屋市は全16区あり、ネットで調べると約700社強の神社があると知った。

<https://jinja.nagoya/>

これをつぶさに巡って、八百万の神々、お天道様にコロナ撲滅を願うということにした。

えっ!「不要不急の外出自粛」が叫ばれていたというのに、いかがなものかと、お叱りをうけるかも。ですが、散歩を自転車に置き換えただけですので、お天道様もお許しになるだろう、と実行に移した次第。

スタートしたのは2020年4月10日。まず居住する中区から。全40社巡った。



名古屋神社巡り軌跡

その数日前の4月6日には首都圏など7都府県に「緊急事態宣言」が出され、ここで決意し準備を始め、4月10日にスタートしたが、この日は愛知県独自の「緊急事態宣言」が発令された日だったので、これがコロナ撲滅祈願の号砲となった。

神社巡りをするにあたっては、自分なりにルールを決めた。

- * 八百万の神前では、「お蔭様です」と「護国祈願」を唱える。
- * 道中、人との接触・会話はしない。はぐれても人には道は尋ねない。飲食は戸外で。
- * 各区を一筆書きで巡る。自宅から自宅まで。
- * 地下鉄・バスは乗らない。オープンエア自力走行のみ。

ちなみに、神前で唱えの心は、

- * 「お蔭様です」とは、「ここにこう元気にお参り出来てお蔭様です」と。
- * 「護国祈願」とは、まさしく「コロナ撲滅祈願」。

もう神頼みそのもの。私本人は至って自己満足している。

自転車神社巡りでは家内には心配をかけているが、なんとか理解をもらっている。

まず中区を終え、そして隣接する8区を巡り終えたのが、5月13日。その後、さらに瑞穂区(5/20)と南区(5/29)と巡った。今日までに11区を巡り、残り5区となった。

ちなみに、日泰寺周辺も巡り、同期の自宅前を通りましたが、「人との接触はしない」を縛りとしていたので、声もかけず、愛想ナシで、そのまま山神社に向かった。

実はちょっと気の緩みが出た。全国の緊急事態宣言が5月14日に解除された。それまでは、一切地下鉄バスは乗らんぞ！の気概でやってきて、その通り自力走行してきたが、とうとう11番目の南区は地下鉄のお世話になった。自宅か

ら自宅への一筆書きのルールは外していないが。この後、港区、守山区、と予定している。ちなみに今日現在11区終えたところで、530社、走行距離684Km。

実績ルートは、自室の壁に張った地図「名古屋市」に赤ペンで記入し、日々悦に入っている。(写真添付) 残りは180+社。暑くならないうちに終えたい。

これまで巡拝した530社のうち、一社を挙げよ、と言われれば、

- * 神明社(花車) 名古屋駅(国際センター)の近くにあるので、機会あればどうぞ。

ここはビーンと来た・・

「何んか居る 昼なお暗き 花車」

おまけに、繊維関連でふたつ、

- * 羊神社(北区) 私は毛織物業界のOBであり、お礼参りでもあり。
- * 綿神社(北区) 海神(わたつみ)が転じたともいう。学徒動員「聞け、わたつみの声」今まさにコロナ戦の戦時中。研修医は動員やも。安寧を祈願。

日本を知らない。

輪行。電車を使い自転車で各地を回ること。これを始めたのは、退職後。

始めた背景はこうだ。若いころから自分は「日本を知らない！」と恥ずかしい気持ちをずっと持っていた。海外経験がそうさせたと思っている。というのは、大卒後は英国に留学、院卒後、豊田織機に就職しベルギー駐在も経験した。その後38歳で父の経営する毛織物会社に転職。ここでも輸出を担当し、日本らしい日本の布地の輸出に努めた。また、趣味としては、大学時代からオーケストラでバイオリンを弾いていたし、現在もそう。総じて欧米とのかかわりが多かった。これが背景。欧米にいと「本当に日本のことを知らないなあ」と思い知らされていた。質問されても答えられない！そのまま時が流れ退職の日を迎え、そこで決めた。これ

からは「楽しく日本を知ろう」、と。これがきっかけで自転車で歴史散策を始めた。近場でも古墳・史跡がある。それから京都奈良も。旧東海道、旧中山道などなど。義経弁慶の逃避行の追体験「吉野(奈良)～北陸～平泉」を輪行。四国88か所自転車お遍路も結願し高野山まで自力走行で結願報告に行った。その折、同期の実家をお遍路の装束のまま訪ねた。徳島鳴門の「鳴門金時」(さつまいも)の生産農家。奥さんとも歓談した。いいもんですね、同期の仲間と会えるのは。

ごく最近では、この春3月21日に走破した「ヤマタケル最期の遠征、熱田～伊吹山～亀山(のぼ)で白鳥となる」の追体験。339.5Km。その後は、とうとうコロナで自粛生活となった。

自転車地球一周分、4万Km

自転車は退職したその日を起点に10年間で地球一周分(4万Km)を走破、と決めた。毎日平均11Km走れば、これが達成できる計算。さて結果は？ 最初の3～4年は頑張ったが、未だ24,000Kmで、いまの仮想到達点は南大西洋セントヘレナ島沖合洋上。この8月で丸9年だが、あと何年かかるか？ 体が持つか？ まだ望みは捨てていない。

日本を知る旅@福島by自転車

福島原発事故が2011年。その被害の凄惨さは報道で知れるが実感がなかった。

そこで2016年に自転車で福島原発周辺を3日間、走り回った。

飯館村、浪江町、双葉町、、警官には何度も職質を受けながら、道に迷っていなくてもあえて土地の人に道を聞き、なにげなく実情を聞いた。津波の被害もさることながら、原発被害の実態を目の当たりにし胸が痛んだ。自分がいかに幸せな境遇にいるのか、肌で感じた。これはちょっと辛い「日本を知る旅」でした。

*黒バッグ 除染進むが どこへ行く

2016/10/14@飯館村

*フクシマを 肌知り得て 幸を知る

2016/10/15@帰路の車内

日本を知る。

自転車と同時期に、能楽の小鼓のお稽古を始めた。謡いを通じ、古き良き日本を知れるのでは、と。これは続けている。その後さらにお座敷芸の小唄と三味線も始めたが、これは長続きしなかった。動機不純だった。

これから、どうする？

世の中の邪魔にならないように、とは思っている。

自転車行「岡山～総社～タタラ製鉄の軌跡～金屋子神社～出雲大社」

お世話になった豊田織機の本社敷地内には「豊永神社」があり、出雲「金屋子神社」の分祀と伝わる。コロナ禍がなければ、この春、これを終えていた。これをやり遂げたい。

他にもこなしたいルートはまだいろいろあるが、喫緊の課題は名古屋の神社巡りの完走。今は港区を巡っている。そのあと守山区、、

マスクはつける。消毒アルコールは小型スプレーに入れ、そこにはアルコール度75%のウオッカ。ポッカレモンが数滴たらしてある。

気付け薬であり、いつでも飲める。

【繊維の同窓会は『双友会』と言いまして、その中の1966年4月入学の同期会の名前を『双六会』と言います。今年は卒業50周年になります】

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2020/4/11	WEB		徳田研究室	—	音声合成ソフトを無償提供 名工大ベンチャー、電子教材に活用
2020/4/11	朝	11	徳田研究室	—	音声合成ソフトを無償提供 名工大ベンチャー、電子教材に活用
2020/4/21	朝	17	名古屋工業大学	—	自動運転用高速通信、名工大発で国際規格 試験・認証機関設立へ
2020/4/21	WEB		名古屋工業大学	—	自動運転用高速通信、名工大発で国際規格 試験・認証機関設立へ
2020/4/28	朝	25	徳田恵一	情報工学科	春の褒章 紫綬褒章
2020/4/29	朝	4	垣田宏治 結城康夫	名誉教授	春の叙勲受章者 瑞宝中綬章
2020/4/29	朝	8	二之夕裕美	卒業生 (M59)	新社長に二之夕裕美氏 株式会社東海理化
2020/5/3	朝	3	神取秀樹	生命・物質工学科	73回中日文化賞決まる 光遺伝子ツールであるロドプシンの研究
2020/5/3	WEB		神取秀樹	生命・物質工学科	73回中日文化賞決まる 光遺伝子ツールであるロドプシンの研究
2020/5/16	朝	26	名古屋工業大学	—	名工大5 万円支給
2020/5/20	朝	12	名古屋工業大学	—	善意の学生パワーでコロナ予防 ロボコン技術で顔シールド 県内の大学生ら 3Dプリンターで製作、寄付
2020/5/30	WEB		神取秀樹	生命・物質工学科	中日文化賞 第73回 受賞者 光遺伝子ツールであるロドプシンの研究
2020/6/9	朝	21	平田晃正	電気電子工学専攻	夏マスク意外と体温上昇わずか ただ…脱水症状や酸欠には注意

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2020/4/10	朝	8	関健太	電気・機械工学専攻	【研究室の窓】メカトロ機器の効率化を目指して 機構解析を核とした設計支援
2020/5/13	朝	6	林幹大	生命・応用化学専攻	【研究室の窓】石油資源枯渇に備えて ゴミにならないポリマー材料の開発



無償メール会員募集中

運営：次世代車載ネットワーク研究所



名古屋工業大学 車載ネットワーク 研究コンソーシアム

急速に発展する車載イーサネットをはじめ様々な通信規格が自動運転実現のために標準化されています。本コンソーシアムにおいて、これらの規格審議情報や測定技術をいち早く皆様にお伝えし、研究開発に生かして頂きたいと考えております。また、標準化したい保有技術をお持ちの方には個別に御相談に応じます。

内容

※来年度より本格実施予定です。

●規格学習講座

標準化の最新動向の紹介、および既存規格の習得

対象規格例：IEEE802.1/802.3/802.11、OPEN Alliance SIG等のフォーラム規格、ISOおよびIECにおける関連国際規格、および関連規格。

●測定技術講座

実際の測定器を用いた規格適合試験、および相互接続性試験技術等の習得

●規格適合対策・規格提案講座

規格適合に向けた対策技術の実例紹介、および規格提案方法の解説

年会費

一口あたり20万円（税込）、2名まで参加可能

―― 今年度（2020年度）に関するご案内 ――

入会を希望・検討されている皆様へ

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、予定していたプログラム内容の実施は見送りとさせていただきます。

なお、今年度の特別措置として、**無償メール会員**を設定し、「ミニWEBセミナー」や「メール情報発信」等のプレイベントを実施予定です。

無償メール会員へのご登録を希望される方は【お問い合わせ先】までご連絡ください。

■お問い合わせ■

国立大学法人名古屋工業大学

産学官金連携機構（担当：藤岡）

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

電話：052-735-7584

email：venel-conso.office@adm.nitech.jp

※コンソーシアムに関する詳細情報は、下記URLをご参照ください。

<https://tic.web.nitech.ac.jp/sangaku/consortium/venel/>

名工大 研究紹介・シーズ集「技術の宝庫」 リニューアル！

名古屋工業大学 産学官金連携機構では
本学の選りすぐりの技術、新しい情報を
いち早く、みなさまへお届けしております。

研究紹介・シーズ集「技術の宝庫」の、
「技術・研究紹介記事」を大幅更新しました。

地域社会のみなさまが活用しやすい情報発信を
心掛け、専属の職員が取材し、分かりやすく紹
介しております。

企業等の課題解決や商品開発を目的とした技術相談や共同研究のご参考として、
ぜひご活用ください！

◇「技術の宝庫」（研究紹介・シーズ集）について

<https://seeds.web.nitech.ac.jp/>



2015年秋に技術の宝庫の冊子版を発行して以降、産学官金連携機構では、様々な研究紹介コンテンツを掲載いたしております。

今回、産学官金連携機構の多種多様な研究紹介コンテンツを網羅的に全文検索する事が可能になりました！

取り扱うコンテンツの種類は下記の通りです。

- 技術の宝庫（冊子版）
- 名工大テクノフェア（PDF）
- テクノロジーチャンネル（動画）
- テクノストリーム（ラジオ）
- 技術・研究紹介記事

詳しくはコチラ ⇒



気になる情報がございましたら、お気軽に産学官金連携機構までお問合せください。

お問い合わせ先 国立大学法人 名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市中区昭和区御器所町字木市

E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp
URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp>

ホットライン

表彰者紹介

2019年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。

2020年度の名古屋工業会の総会で、工業会より表彰を行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止と致しましたので、記念品をご自宅へ郵送させていただきました。

「瑞宝重光章」 (教育研究功労)

松井 信行



【学 歴】

昭和41年 3月 名古屋工業大学 電気工学科卒業
昭和43年 3月 名古屋大学大学院工学研究科
修士課程電気工学専攻修了
昭和51年 7月 工学博士（東京工業大学）

【職 歴】

昭和43年 4月 名古屋工業大学電気工学科助手
講師、助教授を経て
昭和60年 4月 名古屋工業大学電気情報工学科教授
共同研究センター長、ベンチャー
ビジネスラボラトリー長、学生部
長などを経て
平成12年 4月 名古屋工業大学専任副学長（～2002年）
平成16年 1月 名古屋工業大学学長、同年4月法人
化初代学長（～2010年、名誉教授）
平成22年 4月 国立大学法人愛知教育大学監事
（文科省辞令）
平成24年 4月 学校法人中部大学理事長付
特任教授（任期5年）
その後、民間企業社外取締役、技術顧問などを歴任、
現在に至る

コメント：竹上武雄教授の講義と人柄に魅せられて電気機器からパワーエレクトロニクスにのめり込んでしまった大学生活でした。熱意に溢れた学生諸君に恵まれ、国内外で認められる研究室を築けました。学長時代の名工大百周年記念事業では工業会ははじめ卒業生諸氏に大変お世話になり、有難うございました。

「瑞宝中綬章」 (教育研究功労)

松原 十三生



【学 歴】

昭和36年 3月 名古屋工業大学 機械工学科卒業

【職 歴】

昭和36年 4月 名古屋工業大学機械工学科 助手
昭和38年 4月 京都大学工学部 助手
昭和47年 2月 鳥取大学工学部 助手 助教授
昭和51年 4月 鳥取大学工学部 教授
平成2年 4月 名古屋工業大学工学部 教授
平成14年 3月 名古屋工業大学定年退官・
名誉教授
平成14年 4月 愛知工科大学 教授
平成21年 3月 愛知工科大学定年退官・
名誉教授

コメント：主に機械加工における自励振動に関する研究に従事。



「瑞宝中綬賞」
(教育研究功労)

早原 悦朗



【学 歴】

昭和37年3月 名古屋工業大学 電気工学科卒業
昭和42年3月 東京工業大学大学院工学研究科
博士課程修了

【職 歴】

昭和42年4月 名古屋工業大学電子工学科 講師
昭和43年4月 名古屋工業大学電子工学科 助教授
昭和59年4月 名古屋工業大学電子工学科 教授
平成15年3月 名古屋工業大学 定年退官
平成15年4月 中部大学情報工学科 教授
平成20年3月 中部大学 退職

コメント：このたびの受章に際し名古屋工業大学
在学中にお世話いただいた教職員の方々に深く感
謝いたします。在職中はアナログおよびディジ
タル信号処理の研究に携わり、研究室での学生諸
君との日々が懐かしく思い出されます。変革の激
しい時代ですがこれからも名古屋工業大学の一
層の発展を祈っております。

「瑞宝中綬賞」
(教育研究功労)

川嶋 紘一郎



【学 歴】

昭和40年3月 名古屋工業大学
第2部機械工学科卒業
昭和45年3月 名古屋大学大学院工学研究科
博士課程機械工学専攻修了

【職 歴】

昭和45年4月 名古屋大学 助手(工学部)
昭和47年10月 名古屋大学 講師(教養部)
昭和51年4月 名古屋工業大学工学部
助教授(機械工学科)
昭和59年4月 名古屋工業大学工学部
教授(機械工学科)
平成16年3月 名古屋工業大学 定年退官
平成16年7月 (有)超音波材料診断研究所 所長
現在に至る

コメント：皆様の税金から給料と研究費をいた
だき、好きな研究を約30年させていただき、あ
りがとうございました。現在、1人会社で非線形超
音波を用いた材料内部不健全部の可視化を続け
ています。

「黄綬褒章」
(業務精励一設計監理業一)

田中 義久



【学 歴】

昭和54年3月 名古屋工業大学建築学科卒業

【職 歴】

昭和45年4月 株式会社森組 入社
昭和63年5月 田中都市建築事務所 設立
平成元年11月 株式会社 田中都市建築事務所
代表取締役
平成24年3月 社団法人 大阪府建築士会
(後、公益社団法人)副会長

コメント：コロナウイルス禍は、未だ完全収束
とはなっていませんが、「方丈記」にありますよう
に時代の変化に柔軟に対応し、研究と実践を積
み重ね、世に貢献しつつ大いに発展していただ
きますよう祈念いたします。

『投稿のお願い』

名古屋工業会 広報委員会

【原稿のジャンル】

- ◆ 交流コーナー（4頁以内）：ご自身のお仕事上の経験などを紹介
 - ◆ 学生コーナー（2頁以内）：名工大生の様々な活動を紹介
 - ◆ 研究紹介（4頁以内）：オリジナリティと学術的有用性のある研究論文
 - ◆ 講座（4頁以内）：最新技術情報など一般読者に役立つ内容
 - ◆ 随筆（3頁以内）：見聞・体験・感想・在学時代の思い出など
 - ◆ 紀行（3頁以内）：海外出張・留学・旅行など
 - ◆ 情報ネットワーク（1頁以内）：支部報告・会員ニュース・お知らせなど
 - ◆ 他に俳句・詩などの文芸、会員の著書・展覧会などの寸評、その他のご自由な意見など（1頁以内）
- これら以外に広報委員会が設定する特集・連載記事を募集または依頼します。

【投稿規定】

- (1) 原稿の種類 掲載希望ジャンルを上記から選択してください。
- (2) 原稿の長さ 1頁あたり「文章1,000文字+写真・図・表2点」が目安です。規定の頁数に収まるように作成ください。
- (3) 原稿の作成と入稿
 - ・原則として当用漢字と現代かなづかいの口語体を基調とします。
 - ・刷り上りはA4版2段組です。標準の文字数は1段が「21文字×38行=798文字」で、1頁につき「21文字×38行×2段=1,596文字」です。
 - ・手書き原稿でも結構ですが、なるべくワープロソフトを使用し、図表を含め仕上がり紙面に近い書式で原稿を作成ください。
 - ・写真および図版はお送りいただいたものをそのまま使用します。その場合、提出は(JPEG)を歓迎します。写真や図版ごとにキャプション(短い説明)と通し番号を明記してください。
また、会誌「ごきそ」へはモノクロで、ホームページへはカラーで掲載致しますので、ご入稿の際はカラー版をお送りいただけましたらと思います。
また、校正は色校正でもお出しできますので、ご希望の際はご連絡ください。
 - ・電子メールでの入稿(Word、Excel、PDF、text等のファイル形式)を歓迎します。
但し、PDF原稿の中に写真や図等の貼付けがある場合、その部分の解像度が落ちてしまう可能性がありますので、できましたらJPEGファイルも別添いただきますようお願いいたします。
- (4) 原稿の採否および掲載時期
 - ・原稿は、原則として未発表のものに限ります。原稿の採否および掲載時期は『ごきそ』編集委員会にて決定します。原稿の短縮や、表現・内容の修正等をお願いすることがあります。
- (5) 著者校正 通常の場合、初校の著者校正をお願いします。
- (6) 原稿表紙 電子メールの本文、あるいは原稿表紙には次の情報を記載ください。
 - ・著者名と所属
 - ・本学出身者の場合は卒業した学科(あるいは専攻)、卒業年度
 - ・原稿の種類(掲載希望ジャンル)
 - ・原稿の題目
 - ・顔写真の有無(有りの場合はプリントまたは電子ファイル(JPEG)を添付)
 - ・ご連絡先(郵便番号と住所、電話・FAX・電子メールなど)

【原稿送付先】

原稿送付および投稿に関するお問い合わせは下記宛にお願いします。

〒466-0061 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

国立大学法人名古屋工業大学 校友会館内 広報委員会

Tel: 052-731-0780 Fax: 052-732-5298 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp



名古屋工業大学公開講座

2020年度公開講座実施一覧

No.	名 称		対 象 者	募集人数	期 間	実施時間	料金[円]
0	医薬工連携 ― 先端医療を生み出す工学研究		高校生及び一般	100	2020.6.13 2020.6.20	14:00～16:15 14:00～16:20	無料
No.	担 当	名 称	対 象 者	募集人数	期 間	実施時間	料金[円]
1	情報工学科	情報通信技術の現状と動向	一般	50	2020.5.19～7.7 (7日間)	16:20～17:50	4,305円
2	技術部	名工大テクノチャレンジmini 空気でものを動かそう	小学校1年生～3年生	各回 10 程度	2020.5月 (土曜) 2020.8月 (夏休み中) 2020.12月 (冬休み中)	10:00～12:00	無料
3	社会工学科	大災害時の避難と帰宅困難	一般	40	2020.6.20	10:00～16:30	1,230円 (高校生以下 無料)
4	工学教育総合センター	「ものづくり上手」のなごや 「営業上手」のなごや	一般	100 (予定)	2020.6.25 2020.6.26	14:00～15:30	無料
5	社会工学科	Raspberry PI で学ぶサイバーセキュリティ	一般	50	2020.7.4～7.5 (2日間)	10:30～17:50	4,920円 (高校生以下 無料)
6	留学生センター	世界の遊びと文化	小学校高学年 ～中学生	20	2020.7.18	13:30～16:30	無料
7	生命・応用化学科	子供向け実験講座	小学生～6年生	各回 40 程度	夏休み頃 2021.3月の 開催(予定)	夏休み頃 13:00～15:00 3月 10:00～12:00	無料
8	極微デバイス次世代 材料研究センター	半導体ナノテクノロジー： 日本を支える最先端技術	一般	50	2020.8.3	15:00～17:00	820円 (高校生以下 無料)
9	情報工学科	見る・聴く・話す 知覚メディア技術の体験	中学生、高校生 及び一般	50	2020.8.4	13:00～16:00	1,230円 (高校生以下 無料)
10	技術部	第5回名古屋工科大学 ロボコンチャレンジ	小学生～高校生	133 (予定)	2020.8.5～8.7 (3日間)	9:00～16:30	無料
11	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 基礎から学ぶ身のまわりの電子材料	高校生	30	2020.8月第1週 (1日間)	13:00～17:00	無料
12	電気・機械工学科	体験！電気・機械工学 基礎から学ぶ身のまわりの機械の不思議	高校生	30	2020.8月第1週 (1日間)	10:00～16:00	無料
13	理工工学科	体験！物理学の世界	高校生	30 程度	2020.8.6	10:00～16:00	無料
14	電気・機械工学科	電気遊びほう！ 電池とモーターの楽しい工作	小学校高学年 (4～6年生)、付き添い として保護者の参加歓迎	45	2020.8.8	13:00～16:30	無料
15	生命・応用化学科	ポリマー・光合成色素を使って 太陽電池を作ろう！	高校生 (中学生も可)	20～30 程度	2020.8月中 (1日間)	13:00～16:00	無料
16	社会工学科	工場経営とはなにか？『ザ・ゴール』	高校生	15	2020.9.19	13:00～16:00	無料
17	工学教育総合センター	豊かな生活とは何だろう ～快適で安全な生活を支える科学技術～	高校生及び一般	50	2020.10月 ～2021.3月 (3日間)	未定	無料
18	先進セラミックス 研究センター 生命・応用化学科	新奇な環境セラミックス材料の 開発と構造科学	一般	50	2020.11.1	13:30～16:45	1,230円 (高校生以下 無料)
19	工学教育総合センター	ストレス解消法： 心理学による上手なストレス対処	一般	100 (予定)	2020.10月 ～2021.3月 (1日間)	14:00～15:30	無料
20	情報工学科	コンピュータサイエンス・アドベンチャー ～理論計算機科学はこんなに面白い！～	高校生及び一般	40 程度	2020.11.21	10:30～15:00	1,230円 (高校生以下 無料)
21	情報工学科	プログラミング体験 ～ロボットを動かすプログラムを作ろう～	高校生 (家族の同伴可)	20	2020年冬 (1日間)	13:30～16:30 (予定)	無料

・講師、会場の都合や警報等の発令により、講座の日程等が変更になる場合があります。
・募集人数に達し次第、受付を終了する場合があります。

各講座の詳細はホームページに掲載しています。

事前申込みが必要です。申込方法等は裏面をご覧ください。

■問い合わせ先 **名古屋工業大学学務課学務企画係** (名古屋市昭和区御器所町) TEL (052) 735-5069
アドレス <https://www.nitech.ac.jp/course/> **名工大公開講座** 検索

2020年度名古屋工業大学 公開講座申込書

講 座 名	No.	名 称		
フ リ ガ ナ			性 別	年 齢
氏 名			男 ・ 女	歳
連 絡 先 住 所	☐ 自 宅	〒		
	☐ 会 社			
電 話 番 号	(	)	—	
携帯電話番号	(	)	—	
F A X 番 号	(	)	—	
E メ ー ル ア ド レ ス	@ ※パソコンからのメールが受信できるアドレスをご記入ください。			
勤 務 先 又 は 学 校 名				
この講座をお知りになった情報源	☐ 名工大HP ☐ 新開 ☐ その他Web ☐ 勤務先又は学校からの紹介 ☐ パンフレット ☐ 知人・家族等 ☐ チラシ ☐ その他（			
	・「その他Web」の場合、その名称を選択又は記入してください。 ☐ 生涯学習Webナビなごや ☐ あいちの学校連携ネット ☐ その他（			
	・「パンフレット」「チラシ」の場合、その受取場所を選択又は記入してください。 ☐ 名工大からの郵送 ☐ 生涯学習センター ☐ 図書館 ☐ 区役所 ☐ その他（			
備 考				

※講座番号 4,10及び19については、本申込書での申込みではありません。

※お申込みは各講座の受付期間内にお願います。受付期間は、HPまたはTEL等でご確認ください。

※受付期間終了後、上記連絡先へ受講のご案内をEメール又はFAXにてご連絡します。

※希望テーマを選択するものについては、備考欄に希望順に番号を記載してください。

※複数の講座に申し込まれる場合は、本紙をコピーの上、講座毎にお申込みください。

※本学が取得した個人情報、名古屋工業大学情報セキュリティポリシー及び名古屋工業大学の保有する個人情報の保護に関する規程に基づき適切に取り扱います。

申込方法

以下の(1)～(4)の方法があります。

- 以下に、申し込みの方法があります。
- (1) ウェブサイトから申し込み方法
<https://koukaikouza.ict.nitech.ac.jp/reception/>
から申し込んでください。
 - (2) 電子メールで申し込み方法
次の全事項明記の上、メールの件名を「公開講座申込み」として、右記申込先のe-mailアドレスへ送付してください。
 - ①受講講座名
 - ②氏名（ふりがな）
 - ③性別
 - ④年齢（学生の場合は学年も）
 - ⑤住所
 - ⑥電話番号
 - ⑦勤務先又は学校名
 - ⑧この講座を知った情報源
 - ⑨メールアドレス
 - ⑩案内の中で指示のあるものは、その指示に従ってください。
 - (3) 郵送またはFAXで申し込み方法
公開講座申込書に必要事項を記入して、右記申込先へ送付して下さい。
 - (4) 窓口で直接申し込み方法
公開講座申込書に必要事項を記入して、右記申込先へ提出してください。

受講にあたっての留意事項

- (1) 有料の講座については、講習料納入後の払い戻しはできません。
- (2) 受講希望者多数の場合には、期限前でもお申込みの受付を終了させていただく場合がございます。
- (3) 受付期間終了後、受講のご案内をEメールもしくはFAXにて通知します。
※有料講座の申込みをされた方には、別途講習料の納入方法をお知らせします。
- (4) 受講日には、講義開始時間までに直接会場に集合願います。
- (5) キャンセルは極力ご遠慮ください。やむをえず受講を辞退される場合には、下記問い合わせ先までご連絡願います。
- (6) 自動車による名古屋工業大学構内への入構はご遠慮ください。
- (7) 障害等のある受講希望者で受講上特別な措置及び配慮を必要とする方は、事前にご相談ください。

申込先・問い合わせ先

T 466-8555

名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学学務課学務企画係

e-mail : gakumu-kikaku@adm.nitech.ac.jp

TEL: (052) 735-5069 (ダイヤルイン)

FAX : (052) 735-5072

URL : <https://www.nitech.ac.jp/course/>

本パンフレットで未定となっている箇所については、HPにて随時更新いたします。

訃 報									
水田岩雄	C18	R 2. 1. 19	森本浩	E25	R 1. 6. 7				
三木俊雄	C22	R 1. 8.	森義信	E26	R 1.				
加藤茂	C26	H26. 9. 5	岩下湛光	E26	R 1. 10.				
河本毅一	C32	R 1.	岡村正孝	E29	H31. 1. 28				
吉川光彦	C33	R 1. 10. 5	國島尤	E29	R 2. 2. 1				
光岡毅	C35	H27. 8. 2	小玉肇	E29					
河村(旧:加藤)正美	C35		熊沢義美	E31					
福山徹	C36		松本義幸	E31	R 1. 7. 31				
関川佳生	C38	R 1. 8. 3	中塚茂	E32	R 2. 1. 6				
松本茂	C38	R 1. 5.	沢田正弘	E34	R 1.				
川口光美	C42	R 1. 5. 13	森田甫之	E35	H30. 1. 7				
花田利雄	A13	R 2. 2.	鳥居裕	E35	H29.				
佐藤高正	A23	H31. 3.	梅村英三	E36	H31. 2. 28				
白木覚治	A22	H30. 12. 17	池上利政	E37	R 2. 4. 4				
前田多津夫	A38	H30. 6. 5	田中一義	E37	R 1. 5. 15				
松村孝治	A45	H28. 9. 4	今村常男	E40	R 2. 3. 7				
黒田昌夫	M14	R 1. 8. 25	小副川栄一	E47	H31. 3. 10				
和田郁雄	M19	H26. 7.	前田哲男	E62	R 1. 8. 30				
半谷孝	M20	R 1. 12. 21	太田忠久	Es43	R 1. 10.				
深田道夫	M25	H22. 10. 21	長谷川栄一	W26	R 2. 1. 25				
大寺永	M26		竹村皎	W29	R 1. 5. 4				
森田宏	M33	R 1. 6.	岸良幸	W30	H31. 3. 11				
宮本俊夫	M35	H29. 6. 18	宮本浩二	W33	R 2. 2.				
成田政敏	M35	R 1. 9. 10	山本基	D23	R 1. 7. 11				
遠藤裕久	M35	H29.	北村慶雄	D34	R 1. 10. 23				
藤村允	M36	R 1. 9. 6	山崎博章	D37	H30.				
深谷齐	M42	R 2.	福井雅幸	D60	H31. 2.				
加藤久美	M43	R 2. 4. 15	田中耕嗣	G52	R 1. 9. 7				
国枝弘和	M44	R 1. 11. 17	山路(旧:神尾)庸道	Y33					
大西一	M49	R 1.	寄田栄一	Y34	H30. 8.				
米沢総一郎	M52	R 1.	浅井邦夫	Y39	R 1. 12. 27				
小岩浩	E16	H29.	佐竹毅彦	Y57	R 2. 4. 15				
松岡行雄	E16	R 1. 7. 2	長谷川壽	K30	H30. 3.				
永島達雄	E18	R 1. 10. 7	中江由次	F44	R 1. 9. 7				
青山哲也	E23	H31. 1. 20	矢杉井久雄	F46					
分部力	E23	H29.	西田修造	F49	H31. 4. 5				
間瀬卓夫	E25	H31. 4. 20	河路弘臣	㊦22	R 1. 11.				
謹んで哀悼の意を表します。									

(株)ブライダルは
名古屋工業大学会員の皆様の
「結婚」を応援します。

42年の実績

登録料 **100%OFF**



●ブライダルコース
¥231,000▶¥198,000 etc.*

●エクセレントコース
¥396,000▶¥363,000 etc.*

価格は会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ 0120-415-412
http://www.bridal-vip.co.jp
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ、各種要素技術…
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座—経営品質、もしどらり・デザイン、
プロジェクト管理…

『開発設計の教科書』(日経BP 2019出版)

WORLDTECH 株式会社 **ワールドテック**

代表取締役 寺倉修(F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる版組みの書籍・表組み
の頁物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・大
部等の通常のオフセット印刷に過ぎな
いWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エ
ッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名刺
・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットよ
うお手伝いします。

総合印刷の

有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市中区松風町三丁目4番地 2F
TEL. (052) 848-6148
FAX. (052) 848-6518
URL http://www2.ocn.ne.jp/~eik/
E-mail eikou@theis.ocn.ne.jp



広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

吉田奈央子

佐藤 篤司 (A10)

田川 正人 (M56)

酒向 慎司 (I11)

杉本 英樹 (ZW6)

安井 孝志 (D62)

本多 沢雄 (ZY6)

小坂井孝生 (K49)

米谷 昭彦 (F60)

川村 大伸 (SS16)

宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)

学外

祖父江貴宏 (SC4)

成田 憲人 (SU10)

廣瀬 光利 (E50)

吉木 満 (W56)

高取 奨 (D6)

野々山尚志 (Y63)

大矢 泰正 (K52)

守田 賢一 (F47)

入倉 則夫 (B47)

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・廣告
主・関係官庁・各学会・大学・図書館等
に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。